

2020 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	野口久美子
演習テーマ	アメリカの歴史と社会
内容 と 卒業論文の 指導方針	アメリカの歴史と社会に関する個別テーマについての基礎知識と議論を確認しながら、各自、卒業論文研究に取り組む。卒論は現代のアメリカを歴史的観点から分析するアプローチが望ましいが、具体的なテーマは自由。
メール・アドレス	noguchik@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	火曜日お昼休み、5 限 (その他の時間を希望する場合はメールにて要予約)
授業概要	演習 3A では毎週指定のテキストを読み、個別テーマに関する基礎知識を確認しつつ、現代のアメリカ社会を取り巻く問題についての議論を行う。演習 3B では卒業論文のテーマ設定、資料の特定、論文構成と各章について報告と質疑応答を行う。
学習目標	演習 3A では個別テーマからアメリカの歴史と社会、現代の諸問題について理解し、説明、議論する力を身につける。演習 3B では卒論を仕上げ、学術的なプレゼンテーションを行う力を身につける。
授業計画	基本的には演習 3A では文献購読、演習 3B では卒論の個別研究報告を行う。文献や報告方法等については、受講者の研究テーマや卒論執筆状況も加味し、相談の上で決定する。
予習	指定するテキストや卒論報告者の原稿を読んでレジュメを作成し、500 字の要約を作成する。質疑応答やディスカッションに備える。
復習	指摘テキストを再読してゼミ内での議論を確認し、各自の卒論研究に反映させる。
授業に関する 注意事項	毎回指定するテキストや原稿をしっかりと読んでくること。 学内での各種セミナーへの参加、サブゼミの開催、グループ報告準備など、演習時間外の活動も推奨する。
教科書	兼子歩他『「ヘイト」の時代のアメリカ史-人種・民族・国籍を考える-』(彩流社、2015 年)
参考書	随時、指定する。
成績評価の 基準	ゼミへの積極的な参加 (40%) 報告 (30%) 課題 (文献要約・卒論草案) (30%)
関連 URL	
備考	「アメリカの文化と社会」「異文化コミュニケーション」を履修済みである、もしくは同時履修すること。